



新型コロナウイルスの影響による伝統行事の中止に関するコラムです。読んでみよう。

①新型コロナウイルスの感染拡大が続く今、太平洋戦争時代を経験した人たちが「戦争時代に逆戻りしたかのよう」と感じるのはなぜでしょう？

.....

.....

.....

.....

②記事の中にある新型コロナの影響で中止となった県内の三つのお祭り(伝統行事)は？
また、中止となった理由は何ですか？

.....

.....

③天災などによる延期や縮小を除き、中津祇園の祇園車巡行が中止になったのはいつ以来でしょう？

.....

.....

④戦時以来のインパクトを与えているコロナ禍は、地域社会、あなたの暮らしにどんな変化をもたらすと思いますか？ 考えてみよう。

.....

.....

東西南北

2020. 5. 14

「戦争時代に逆戻りしたかのよう」。新型コロナウイルスにナウイスに関する報道で、太平洋戦争時代を経験した人たちがそう語るのを見聞きする。先日も

ある会場で、東京からの講師(82)が同様の話をしていた。窓を全開にして走る電車に乗った感じや、行動規制を求める緊急事態宣言の



状況が、戦時の暮らしの感覚を呼び戻すという▼日田、臼杵、中津の県内三大祇園祭は今夏、いずれも中止が伝えられた。悪疫退散を願う伝統行事も人が集まり熱狂すれば、今は避けるべき「3密」を招く。例年なら祭りのことで頭がいっぱいになる当地・

中津のいわゆる祇園のぼせたちがはやる気持ちを抑えて話し合い、祝詞を上げる神事だけ厳かに執り行うと決めた▼本物を見たいと筆者も楽しみにしていたが、残念。関係者の「来年こそは」の言葉には格別の思いがあるだろう。中津祇園保存協議会によると、天災などによる延期や縮小を除けば、みこしや祇園車巡行の中止は珍しい。終戦を挟み3年続けてとりやめとなった1944〜46年以来。その前は1859(安政6)年のコレラ大流行までさかのぼる▼衛生環境が大幅に改善された現代、世界中で猛威を振るっている今回のウイルスがいかに厄介な存在か分かる。戦時以来のインパクトを与えているコロナ禍。地域社会にどんな変化をもたらすだろうか。

2020年5月14日付大分合同新聞1面